昨年1月にSBしたプラント

量は11万㎡超だった。

メンテナンスの重要

の出荷量は7万9千㎡ 場を閉鎖した。昨年度

SB後の累計出荷

だが、人員的に余裕が を担当する人材が必要

に予備を準備し、従業

澤工場長)という。ま 耗品も長く使える」(村

調べる体制とした。 その都度、その原因を

ま

中庸熱で大臣認定

練を考慮することで消

材料投入順など混

常を発見した際には、

消耗品に関しては常

ない。そこで当社では

技術があっても

うにしている。更新時

ト下部に鉄網を設置 たプラントミキサゲ

生コンの集合ホッ

庸熱用のセメントサイ

プラント更新時に中

プラント内部に

員だけで交換できるよ

社名に変更し、

高岡工

ン工場もメンテナンス がある。本来なら生コ

ている」という。

復旧することを目指し

上場との合併を機に現

サノコンクリ

性について、村澤工場

意味がない』と考え、営

機械の保全策を検討

こも、30~40分以内に いる。故障が発生し

験室)が一体となって、業と技術、品質管理(試

配置し、故障時にも自

ことで、部品の摩耗率を減らし、交免りで、

 $\widehat{1}$  0 0

()、早強(80

0

4基体制とした。

(200~)、高炉B種た。これにより、普通

社で対応できるように

プラントミキサ

をできるだけ

アセチ

レンガスなどを

溶接電源、酸素ガス、

内張りやラバ

ーシー

0~)を増設し

卒業後、

1991年に

り、全国生コン両連合会の総務

た。

上智大学法学部を

長兼企画部長に就任し コン両連合会の総務部

11日付で全国生

げを視野

れている。

次のステップに向け

になりそう

強含みへ転じるとみら

なるが、来春が価格改

する。

動向を見極めることに 行いながら、コストの

げていきたい」と指摘 ミキサ車の回転率を上

が失われたほか、JRの橋梁

な津波から多くの

九州北部豪雨では福岡、

、多くの人命は福岡、大分

が頻発してい

頻発している。今月上旬の今年も全国各地で自然災害

上旬の

が流出するなど交通インフラ

定の一つのターゲッ

が引き締まるにつれて 感が出ていたが、需給

### 岩間理事長 年比4・3%増の78万 は着実に改善している。 発化するなど需要環境た相模原で荷動きが活 5千㎡で、4年ぶりに 昨年度の出荷量は前

立坑、南町田で再開発、庫、リニア中央新幹線

海老名で大型マンショ

ンなどが動き始めてき

引き上げ、

各社へのヒヤリングを

いる。今後、ゼネコン打ち出す構えを見せて

に近い工場を優先し、ている。そのため、これからの割決は、現場がいないケースが増え

逆ザヤになっているとしいう。1

異常気象とはいえず、日本のここまで頻発すると、もはや

気候が変わってきたと実感す

日のように発表されている。

時間大雨情報が全国各地で毎

改定したい意向だ。

る。

自然災害が発生する度にイ

に骨材業者も値上げを らんできており、さら 生コン輸送コストが膨 車料金の値上げなどで た検討も始まった。

足が根底にある。ミキ

車があっても運転手

の見直し。

中庸熱セメ

コストの上昇も人手不

岩間理事長は「輸送

課題は中庸熱セメン

視野に入れる。喫緊の

スライド表の改定も

を使ったAE減水剤コ

客

気象庁

イメ

ジ

ア

ツ

ブ

降ることも今や不思議ではな

プが重点施策となっている。

わずか数日で1か月分の雨が にも甚大な被害を及ぼした。

喫緊の課題で、

生

コン業界では一

人材確保が

トのスライド

の記録的短

0円 18・18・20 と

の販売価格を500円

日以降の引合受付分

たことで偏在が緩和し

いる。

9月の荷動きも

巻

格は、平塚・厚木で1

川端工業

排

を開発

プされる。2015年の鬼怒 ンフラの被害がクローズアッ

連通じ

全

国販売

相模原

元の建設物価の表示価 した。それに対して足

万1千㎡となった。想に比べ3・1%減の19 協同組合(岩間豊理事 湘南生コンクリ 6月の生 今年度は、上期40万㎡、 前年実績を上回った。

が、ここへきて相模原に需要が集中していた背景に平塚など中南部 む。エリア内ではこれて無処がの85万㎡と まで自動車道路工事を えたのはその予兆。想足元で65万㎡と1割増 き返しは下期からにな 58 りそう。5月末時点で やや力強さを欠き、

mだった契約残が

おどほかの地域と比べなどほかの地域と比べるが開は、藤沢、平塚給緩和を背景に相模原

開発、販売に力を入れ学務に関連する商材の

端工業

(福井市、

固まらせて排出する

重県四日市市、長谷川「R2」を中央建設(三

後にポンプホッパ

R2は圧送作業終了

「従来、圧送と社長はメリット

圧送作業後

に改質するもの。

残コン処理には20

心の水を要

恭裕社長)

と共同で開

が、これまで低調だっ振れ、やや鈍い出足だ

定対比でも1

黒澤 定達成は確実視されて

靖 さん (50)

西四国支店の業務部時

その後本社の不動

配属先は不動産事

業務内容だったという。 業部時代とかなり近い セメントの生産に関

生コン工場を売却する 部へ異動したが、「集約 自社所有の め、年間300件を超体や大学関係者をはじ 0 した際には、地方自治灰水洗システムが稼働 の総務課長時代だ。 与 た。「この時が一番、セ える見学要請に応え したのは、熊谷工場 - 年に熊谷工場で . 地方自治 )件を超 善事業や、 する絵画コンクー 年の2年間は大阪広域 画室に出向し、構造改 生コン協組の法務・企 勤務したのち、13~15産事業部に戻り6年間

組合が主催

ルな

ようになったのは、関生コン業界と関わる だったと思う」と語る。 メント会社らしい仕事 ど主に社会貢献活動の 業務を担当した。15年 不動産に籍を置いてい から直近までは太平洋

ら2か月が経過した 全生連に着任してか

コ

得していたこともあ

た直後、東京支店業務

れた」ため、不動産事 る人ということで呼ば

秩父小野田が発足し

生コンプ

う

ント

訪問

東名太平洋生コン・

本社

工場(愛知県)

た。在学中に宅地建物 洋セメント)に入社し

かった。

動産関係の業務が多

ような際、

資産の査定

や土地取引の経験があ

宅建資格を活かせる不 業部だった。その後も

化に伴

秩父セメント(現太平

取引士(宅建士)を取

3人暮らし。 したばかり

の娘さんと

奥様と今年大学に入学 で現在は熊谷市在住

歳。埼玉県秩父市出身 ができるように心がけ ができるように心がけ ができるように心がけ 会議が多い組織。総務、 企画両部の部長とし



る」という。

R2は全国コン

クロムの問題も解決

移動式ミキサ車で製造する

を再利用

ネコンへ、産業廃棄物 圧連で販売する狙 体に販売する予定。 合会が傘下の組合や ・ト圧送事業団体 ゼに全団連ク

住宅土間の捨てコンクに乗り出す。出荷先は

出荷先は

トを想定してお

許可を持たない圧送業ようになる。収集運搬に対する要望を行える 輸送している。 の瀬戸産の砂利・ 基のコルゲー の専用プラントが だけでなく、SL り、ミキサ車は生コ に貯蔵している。 骨材は340-当たり1万 2 ㎡までで、

三重の藤原鉱山の 砕砂を使用 一行砂地イン 一次と元ロ8 易プラントを設置し 動式ミキサを用いた簡 長)。 長)。 や村社 でっている少量の生コ 工場跡地を購入し、 同社は近隣の生コン

東京地区生コン 生コン協組の斎藤理事長

昇一理事長は いることから、

と同じ60N/㎡。 中庸予定。 強度領域は従来 来的に80N/㎜まで引 熱配合の追加で取得 き上げる考えだ。 た後は「高炉スラグ微 いた配合は、 ている。

(第3種郵便物認可)

新時に機械の保全だ

のプラント更

当初から東海地区にお

14名のうち、6名が主

3名が技士を

ンテナンス専門の部署 工場では、自社内にメ

している。

0年に中京ア

てきた。現在も従業員

カー

-などの大規模

の摩耗も激

番制とし、新入社員だ

可能性があるため、

当

石砕石、

すると見落としが出る

予定。強度頁式といる人を収集

り、消耗品段に上が

予想され

同じル けでなく、

いを回る。 ベテラン

しくなると

取締役工場長。

同社は

レミコンとして創業。

知県東郷町)の村澤修 東名太平洋生コン(愛 スが重要」と語るのは

実業が母体となり、

てコンクリ

ト技士・

頼むことが多いが、セ と、外注業者に修理を

メントメーカーや鉄鋼

968年に東名小野田

主任技士の取得を促し

を置く建材商社、

板倉

コン関係者を受け入れ 社とつながりのある生 成所として、旧小野田

同社は豊橋市に拠点

を安定的に供給するに

た体制とした。

機械のメンテナン

良い品質の生コン

でなく、故障も予見し

系列の生コン技術者養

障する。生コン工場は長は「機械はいつか故

プラントが故障する

ミキサゲート下部に設置した鉄網

サは旧ミキ

用。「新ミキス) 280

朝と昼のプラント操業 取り組みとして、毎日

庸熱セメントを用いた

に周囲を巡回して、

R

ジク O

 $\Box$ 

ト保全能力を高める

同社ではさらにプラ

同社では9年に取得

いた高強度コンク

転速度が格

いる。

点検係は専任化

生状況などを確認して 異音、振動、粉塵の発

タは取得済みで、

る。冬期、標準期のデ

配合の追加を進めてい

常駐している大型車は 傭車会社の豊商運に委 たい」(同)としている。 した低炭素型コンク 粉末やフライアッシュ (FA) を大量に使用 生コンの輸送は全て トの配合も検討し いる。同工場に

台。同社には生コンプ常用の大型傭車が4 ラントと隣接してセル

リート協同組合は3年半ぶりとなる生コン値半ぶりとなる生コン値を2月に販売価格にどを12月に販売価格にどを12月に販売価格にどを12月に販売価格にが終する。緩んでいた転嫁する。緩んでいた転嫁する。緩んでいた 境が整っていく。 値上げが通りやす

車の確保、設備投資、10い。従業員やミキサ 考えると、さらに厳し車の確保、設備投資も 半期で約10万㎡上振れ想しているが、第1四 高いとはいえず、「今のかといってその水準が だ」との見通しを示す。 の満額浸透を目指すと くなる」とし、値上げ 以上になりそう 3 2 0 斎藤

んでいる。単価は1m程度を見込 運賃)。「新幹線工事の 本格化で入手が困難な mまでで、1日の出 、数量は1社当たり (プラス 移

#### く、被災直後の応急復旧に災害から入命を守るだけで 本大震災でもRC構造物がにことが話題となった。東KC) 造構造物が被害を免い害では鉄筋コンクリート |出している現状を改|者が残コンを場外に 品の再生生コンの販売 らR2で改質した骨材 にもつながるという。 省力化・生産性の向上 理に要する圧送業者の 語る。さらに残コン処 強化にもつながる」と の利益として計上でき 部を各組合や団体 いる現状を改善 同社は今秋か

ン業界の魅力を発信してほ

者から将来を担う若手ま

こ効果的な材料はなど

アップを訴えるのにこ

している。

業界のイ

コンクリート主任技士試験 完全攻略問題集2017年版

理できる。また、六価 り、残コンを現場で処 のすが減

ていたが、R2を用

れば50以程度で済む。

コンクリート 主任技士試験 •••••••• 2017年版 ••••••

浅野工学専門学校監修

過去5年分の全試験問題の解答と解説 小論文の記述例も掲載 4年分は分野別に掲載。集中的に学習できる 分野別の演習問題で応用力も身につく コンクリート新聞社

A5判416ページ 定価(本体4,000円+税) ISBN978-4-915849-97-8 社の問題集は

1)過去5年間に出題された全試 験問題を解説しています。読者 は、本書で学習するうちに、自然 と最近の出題傾向にマッチした 実戦的知識を身につけることが 出来ます。

2) 著者オリジナルの演習問題も 解説つきです。オリジナルの演習 問題に取り組むことで、応用力 が身につきます。

3)5年分の小論文全問題と演 習問題の記述例を掲載。小論 文への対策も万全です。

監修:浅野工学専門学校

コンクリート技士試験 完全攻略問題集2017年版

# コンクリート 技士試験 •••••••• 2017年版 •••••

浅野工学専門学校 監修

過去5年分の全試験問題の解答と解説 4年分は分野別に掲載。集中的に学習できる 分野別の演習問題で応用力も身につく

A5判448ページ 定価(本体4,000円+税) ISBN978-4-915849-98-5

#### 好評発売中 ご注文は全国有名書店・ネット書店・HPで

コンクリート新聞社 TEL. 03 (5363) 9711 FAX.03 (5363) 9712 http://www.beton.co.jp

## プロが薦めるコンクリートポンプの機種選定

コンクリート工事でポンプ 圧送工法が一般化してか ら半世紀余り。コスト的にも 作業効率的にもそれを上 回る技術は出現しておら

好評 発売中

ず、今後もポンプ圧送がコンクリート工事の主流を占めること になる。その一方で、圧送技術に対する建設工事の元請 技術者の関心は低いため、現場では一般に圧送技能者 の経験や技量を頼りにコンクリート工事が行われている。

そこで本書では、ポンプの機種選定について、最大圧 送距離のみで決めていた従来方法から脱し、「**より合理** 的、安全に工事を進める方法」を提案、分かりやすく解説

している。元請技術者や圧送技能者必読の一冊

#### 〈主な内容〉

- ① 基本方針
- ② コンクリート圧送の基本事項
- ③ コンクリートの圧送計画における留意事項
- ④ コンクリートポンプ機種の選定方法
- ⑤ コンクリートポンプ機種選定のケーススタディ ⑥ 施工事例
- ◎ 資料編 コンクリートポンプの仕様一覧、
- コンクリート圧送関連用語・同解説
- 一般社団法人全国コンクリート圧送事業団体連合会

A4版 80ページ (本体価格2,500円+税)

コンクリート新聞社 TEL. 03-5363-9711 www.beton.co.jp



一般社団法人 全国コンクリート圧送事業団体連合会 編

コンクリート新聞社